



対面通行が困難なほど狭くて危険な消防署北線

問 口蹄疫に対する本市の危機管理体制は。宮崎県からの最近における子牛導入状況は。県と市が配付する消毒液は重複して配付されるものか。また、薬の効果は。感染予防ワクチン投与の実施は。

局、普及サブセンター、県獣医師会遠野支部、J A、N O S A I、畜産公社で、会長は、市農業活性化本部畜産担当部長として。必要により対策本部の設置を要請することになっている。宮崎県からの子牛導入については、3月以降導入された牛はいない。消毒薬について、市内689戸の畜産農家に20キロ入り消石灰を3〜4袋配付し

答 昨年11月5日に「遠野地域家畜伝染病等防疫対策連絡協議会」を立ち上げて。構成員は、市、県南家畜保健衛生所、県南広域振興

(注1)
**スプロール化が進行する
地域の市道「消防署北線」
の整備促進を**



菊池民彌 議員 (正心会)

問 遠野・都市計画マスタープランは、合併後も生きているプランか。狭隘で危険な市道「消防署北線」を都市計画街路事業として整備すべきではないか。できない場合は、市道「新張羽根通線」の整備手法もあるのではと思うが。市長は、都市計画事業の見直しを検討しな

答 旧遠野市のマスタープランを現在も継承している。住家が密集している道路の拡幅事業は、用地費、補償費が嵩み、事業費が多額となるため、補助事業等によらなければ着手することが困難である。この道路は、地域住民の理解も得ながら市全体の道路整備の中で、整備方向を考えなければと、思っている。県では、「都市計画路線見直しマニュアル」に基づき、対象路線の検討に入った。当市も、市民の意見を聞きながら見直しをしなければならぬ。

その他の質問
地上デジタル化に伴う遠野テレビへの加入金について

注1 スプロールとは…<不規則に広がる意>
都市の郊外に無秩序・無計画に宅地が伸び広がっていくこと。「一現象」「一化」